▲瀬戸川製紙場真景

企画展

「近代三島をつくった人々」関連講座のご案内

◆入館・参加無料（15歳以上は楽寿園入園料300円が必要）

前期（政治・教育編）：9月24日（月・振休）まで
後期（経済・文化編）：10月13日㈯～平成31年1月3日㈭

郷土資料館（楽寿園内）☎971・8228

①ギャラリートーク

とき　11月25日㈰、12月1日㈯
❶午前11時から❷午後1時30分から（各30分程度）
ところ　1階企画展示室（申込み不要。直接会場へ）
内容　学芸員による展示解説

▲豆相鉄道

②講演会

とき	内容	講師
10月13日㈯	幕末・近代の三島の教育 ～並河誠所と福井雪水～	桜井祥行さん（伊豆の国市文化財保護審議会副会長、韮山高校校長）
10月28日㈰	伊豆における国会開設署名運動	高橋廣明さん（下田市史編さん室）
11月11日㈰	館蔵資料から見る幕末・明治の三島	郷土資料館学芸員

時間　各日程とも午後1時30分から（開場午後1時）
ところ　1階多目的室
定員　先着35人（事前申込者優先）
申込み　9月11日㈫から電話受付開始

③明治の石碑めぐりツアー（ふるさと講座）

とき　11月1日㈭午前8時30分～午後4時
※楽寿園駅前口集合、大場駅解散
内容　明治時代の人物・事業に関連する市内の石碑をバスと徒歩でめぐります。（三嶋大社、加茂川神社、大場神社など）
対象　市内在住、在勤、在学の人
定員　先着25人
申込み　9月11日㈫から電話受付開始

▲祇園原開発の碑（加茂川神社）

④郷土教室（体験講座）

とき・ところ	内容	対象・定員・申込みなど
11月3日（土・祝）❶午前10時～正午 ❷午後1時～2時30分・3階体験学習室	明治のペーパークラフト「立版古」をつくろう	申込み不要。直接会場へ
11月17日㈯午前10時～正午 生涯学習センター5階料理講習室	コンデンスミルクとバターをつくろう	小学生以上・先着10人（小学生は保護者同伴） ※9月11日㈫から電話受付開始

【臨時休館】9月26日㈬～10月2日㈫※燻蒸（くんじょう）のため

歴史の小箱

No.364

地区の歴史 中地区（錦田地域）

郷土資料館☎971・8228

企画展「近代三島を作った人々ー前期：政治・教育編ー」開催中！
9月24日（月・振休）まで、後期10月13日㈯～1月3日㈭

九月とはいえまだまだ暑い日が続きますが、田んぼの稲は穂を実らせ、そろそろ収穫が楽しみな時期になってきました。今回は、三島市の中でも田園地帯に位置する集落のひとつである三島市中地区の歴史をご紹介します。

中地区は錦田地域の中で唯一大場川の西にある集落で、地名は御殿川と大場川に挟まれた地形に由来すると言われています。明治二十二年（一八八九）に合併して錦田村になるまで、中村と呼ばれていました。戦国時代頃までは「北中村」と呼ばれており、周辺の村々とともに三嶋社（三嶋大社）領であったことが、足利尊氏の文書で判明しています（ちなみに南中村は現在の伊豆の国市韮山南條付近とされる）。

川に挟まれた立地のため水利がよく、古来稲作の盛んな地域で、奈良・平安時代の遺跡からは、稲作を主業とする集落跡が見つかっています。この地域の農業については、江戸時代に代々名主を勤めた鈴木家に残された古文書（中　鈴木家文書）からも多くの情報が得られます。

特に文禄三年（一五九四）と慶長八年（一六〇三）におこなわれた検地の記録（検地帳）は大変貴重なものです。これらと正徳四年（一七一四）に調査された村の記録等から、江戸時代初めには村高（村内の米収穫量）五〇三石、家数十六軒、人口六十人余であったことがわかります。その約四十年後には家数・人口は二十六軒、九十九人まで増えています。

また、幕末に稲の種まきをした際の記録資料である「種おろし」には当時この地で栽培されていた稲の品種が書かれており、「三島小僧」「大場小僧」などの品種の存在がこの資料で初めてわかりました。三島地域で生まれた品種だったようです。「種おろし」は二十六年間に渡って記録された稲栽培に関する記録であり、ほかにも多くの伊豆地域の名を冠した品種の栽培が記録されていました。栽培された品種や時期について長期間に渡る記録は大変珍しく、この地域の農業に関する歴史や生活を考える上で大変貴重な資料です。

中村は農業に適した土地であっただけでなく、今でいう「交通の便がよい」土地でもありました。集落内には三嶋大社門前から南下する街道（旧下田街道）が通っており、この道は平安時代末に蛭ヶ島に流された源頼朝が三嶋大社へ参詣する際にも通ったと伝わります。集落の街道沿いにある手無地蔵堂には、三嶋大社参詣途上の頼朝が怪しい美女の腕を切り落としたところそれは地蔵の化身で、以来地蔵の手が無くなったという伝説が残されています。

▲頼朝伝説が残る手無地蔵堂

わたしのおじいちゃん

当番　たむら　ひいろ さん

私のじいじは、建築士で絵手紙の先生もしています。私は二年生まで群馬県に住んでいて、じいじは私に百日間絵手紙を送ってくれて、毎日どんな絵手紙が来るのか楽しみでした。今は、一緒に住んでいるので絵を教えてくれます。

じいじは、そば打ちも得意で、いつもおいしいそばを食べさせてくれます。家族や友達が集まった時にもそばを作ってくれて、その時に食べるそばは最高です。

じいじいつまでも元気でいて、おいしいそばを食べさせてください。

田村真雄（71才）
田村陽彩（佐野小6年）